

会長就任のご挨拶

公益社団法人 日本海難防止協会会長 内藤 忠顕



このたび、6月21日付で、公益社団法人日本海難防止協会の会長に就任致しました内藤でございます。

世界の社会・経済活動を支える基盤である海運・水産業は、経済の発展や人々の豊かな暮らしを支えるものであり、その安全・安心な海上活動及び海の環境を守ることは、海に携わる私たちにとっての使命であります。

日本海難防止協会は、戦後の混乱から高度成長への移行期で重大な海難が続発していた、1958年（昭和33年）に発足しました。以降、海難防止や海洋汚染防止に関する調査研究や事業、そしてこれらに関する国際協力活動等を通じて、航行安全及び海洋汚染防止に寄与し、人々の暮らしの向上に貢献してきました。

私は、海難防止、海洋環境保全に高いご見識を持たれ、多くの功績を残された村上前会長の後任として、会長に就任するに際して、その責務の重さを痛切に感じているところであります。

近年の我々をとりまく環境は、AIなどの最新技術の進歩とその延長線上にある自動運航船の研究、対策が急がれる地球規模の気候変動とそれに伴う環境規制の高まりなど、大きな変革の時を迎えております。

このような大きく変動する環境にあって、皆様のご期待に応え、海の安全と環境を守り、そして、豊かな暮らしに貢献すべく、会長としての責務を果たしていく所存であります。

会員の皆さま、国土交通省、海上保安庁をはじめ関係官庁並びに日本財団、日本海事センター、そして海運・水産業界など関係各位におかれましては、引き続き、ご指導、ご鞭撻、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。会長就任のご挨拶とさせていただきます。